

震 災以前の平成6年(1994)、「地域の文化を未来に伝える方舟」として設立された美術館。「食」をキーワードに地域の歴史や民俗を紹介する「方舟日記」、同館ゆかりの作家の作品を中心に紹介する「収蔵美術作品展」のほか、津波災害と地域文化の関わりを震災資料とともに公開した常設展示があります。

震災直後から約2年間にわたり、同館学芸員が気仙沼市と南三陸町の被害を記録調査。そして公開に至った常設展示は、「東日本大震災をいかに表現するか、地域の未来のためにどう生かしていくか」というテーマで、学芸員が撮影した写真203点、収集した被災物1505点、歴史資料など137点を展示しています。「被災現場では、定元に散乱する日用品が何かを語りかけてくるように感じた」など、展示被災物には、学芸員が感じたことや考えたことなどが文章で添えられています。



空中へせり出すように造られた、ガラス張りの展望室。高台に位置しているため、天気がいい日は市街地とそれを取り囲む緑豊かな山並みを一望できる。館内にはほかに、レストランやミュージアムショップもある



2階の歴史・民俗資料常設展示「方舟日記」では、海と山に囲まれる三陸沿岸部の豊かな「食」をキーワードに、薄れゆく地域の民俗、習俗、歴史、生活文化を総合的に展示。イラストパネルでわかりやすく解説



現代アートを軸に紹介しながら、地域の生活文化を普及するための歴史民俗常設展示を行う、総合博物館のような美術館。気仙沼湾を見下ろす丘陵地帯の一角に位置し、屋上庭園からの眺めがすばらしい

考えてみよう

Q1 一般的な災害の記録は「どう壊れたのか」という視点で行われますが、同館では異なる視点で調査を進めました。それは、どのような視点だったのでしょうか?

●げせんぬまし
気仙沼市

気仙沼市の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	18km ²
最大浸水深	27.06m
全壊	8,483棟
半壊	2,571棟
一部損壊	4,761棟
死者	1,218人
行方不明者	214人
負傷者	

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

学芸員の地道な調査で得た震災資料を公開

リアス・アーク美術館

「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示

●りあす・あーくびじゅつかん
「ひがしにほんだいしんさいのきろくとなみのさいがいし」じょうせつてんじ

展示

交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●りあす・あーくびじゅつかん
「ひがしにほんだいしんさいのきろくとなみのさいがいし」じょうせつてんじ

リアス・アーク美術館
「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示

☎ 0226-24-1611 MAP P114D2

① 気仙沼市赤岩牧沢138-5
② 三陸沿岸道路気仙沼中央ICから車で10分
③ 9時30分～17時(最終入館は16時30分)
④ 月・火曜、祝日の翌日(土・日曜を除く)
⑤ 700円、大学生・短大生・専門学生600円、高校生500円、小・中学生350円
⑥ あり(大型バス:あり)
http://www.riasark.com



A1 まず「何が壊れたのか」。その次に、「なぜそれは壊れなければならなかったのか」という視点で調査を行った。単なる震災被害の記録ではなく、これまで築き上げられてきた地域の最後の姿を、今後の地域再生のために記録しようとした。



●けせんぬまし
●けせんぬましふつこうきねんこうえん

気仙沼市復興祈念公園

2 021年3月11日、震災から10年目の日に開園。高台に整備された公園からは被災した市街地が復興する様子を望め、犠牲者を追悼すると共に、穏やかに平和な未来を祈念する場となっています。

復興祈念の象徴である高さ10mのモニュメント「祈りの帆・セイル」は、船体を使用されるアルミ鋼材で制作。同公園アイデアコンペの入賞作品を融和させたデザインで、アーチ・船・扉・灯台・台掌などを表現しています。モニュメントの内部からは内湾を望めるので、水平線に向かいながら祈りを捧げましょう。

園内に設置している伝承彫刻には、物語性をもたせており、台座の二次元バーコードから実話をもとにしたエピソードを読むことができます。来園者それぞれの「震災の記憶」を呼び起こし、語り合いの場が創出されることで、震災を知らない地域や世代に語り継いでもらいたいとの願いが込められています。

犠牲者を追悼し、震災の記憶を後世に伝える施設として、高台に整備された公園。海と市街地を見下ろす場所に、震災の犠牲者の方たちの芳名と、被災時の年齢を刻んだ銘板を円環状に配置している



高さ10mのモニュメント「祈りの帆・セイル」は、復興祈念のシンボル。気仙沼市復興祈念公園アイデアコンペの入賞作品を融和させたデザインは、アーチ・船・扉・灯台・台掌などを表している



「海へ」とタイトルがついた伝承彫刻。園内に点在する彫刻には、それぞれにタイトルがついている。台座の二次元バーコードからエピソードを読み、どうしてそのようなタイトルがつけられたのか、考えてみよう

気仙沼市

世界中の思いが結集した10mのモニュメント



最大震度 6弱

浸水面積 18km²

最大浸水深 27.06m



全壊 8,483棟

半壊 2,571棟

一部損壊 4,761棟



注① 死者 1,219人

行方不明者 214人

負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

車椅子OK

施設DATA

●けせんぬましふつこうきねんこうえん

気仙沼市復興祈念公園

☎ 0226-22-6600 (気仙沼市総務部総務課) MAP P114D1

📍 気仙沼市陣山264

🚗 三陸沿岸道路浦島大島ICから車で10分

🕒 見学自由

🅐 あり(大型バス:あり)

<https://www.kesenuma.miyagi.jp/memorialpark>



注①出典:東日本大震災における被害状況,令和4年10月11日,宮城県

考えてみよう

Q1 公園には、犠牲者の芳名などを刻んだ銘板を円環状に配置しています。高台に公園を整備した背景には、どんな思いが込められているのでしょうか？

Q2 犠牲となられた方々の銘板は、一人一人を思いながら追悼できるよう、ある方向に向かって配置しています。それは、どういう方向でしょうか？

A1 犠牲者の芳名が、もう二度と津波の被害を受けることがないようにとの思いから高台に整備された。

A2 犠牲となられた方が、生前お住まいだった地区の方角。



東 日本大震災当日まで、気仙沼向洋高校として利用されていた建物を震災遺構として保存し、新設した震災伝承館と併せて公開しています。震災伝承館では、映像や写真パネルで被災の様子を伝えるシアターや展示室などを設置。防災・減災教育を学べる語り部ガイドや防災セミナー、震災遺構や震災伝承館で得たものを振り返り、自分の暮らしに生かすワークショップ(いずれも有料、要予約)にも参加できます。

遺構内は、ぜひ語り部ガイドと一緒に見学しましょう。3階の「津波で流されてきた車」や4階の「津波到達地点」など、目に見える証に加え、語り部の話を聞くことで震災の記憶や教訓をより深く理解し、自分のこととして捉えることができます。毎月11日近くの土・日曜には、中高生が等身大の言葉で伝える無料語り部イベント「みんな語り部」を開催。毎回、多くの人々が来館しています。

引き波の通り道となった北校舎と総合実習棟の間。引っかけり、折り重なった車や、ほかにも家屋の建材と思われる木材などの被災物が、山のように積もっている。改めて、津波の脅威を実感する光景だ



被災時の映像や被災物を目の当たりにすることで、防災・減災意識を高められる。語り部ガイドは所要1時間30分、①1グループ6000円(20人まで) ※10日前までに要予約



館内に入って、来館者が最初に映像を見る震災伝承館の映像シアター。300インチの大型スクリーンで、震災当時の様子をありのままにまとめた13分の記録映像を、毎時00・20・40分に上映している

●けせんぬまし
気仙沼市

●けせんぬまし ひがしにほんだいいんさいいこうでんしょうかん
気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館

3階に流れ込んだ車が物語る津波の威力



最大震度 6弱

浸水面積 18km²

最大浸水深 27.06m



全壊 8,483棟

半壊 2,571棟

一部損壊 4,761棟



死者 1,218人

行方不明者 214人

負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

音声ガイド

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●けせんぬまし ひがしにほんだいいんさいいこうでんしょうかん

気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館

☎ 0226-28-9671 MAP P114D2

①気仙沼市波路上瀬向9-1

②三陸沿岸道路大谷海岸ICから車で10分

③9時30分～17時(10～3月は～16時)

※最終受付は閉館1時間前

④月曜(祝日の場合は翌日)

⑤600円、高校生400円、小・中学生300円

⑥あり(大型バス:あり)

https://www.kesenuma-memorial.jp



? ? 考えてみよう

Q1 南校舎4階の外壁を見上げると、一部が大きくえぐられている部分があります。この破損は、何が起きて生じたのでしょうか?

Q2 遺構の屋上上がると、5つの机が散らばり、当時の状況が再現されています。避難者のどんな行動を再現したものだと思いますか?

A1 津波で流されてきた冷凍倉庫が外壁に衝突し、えぐられた跡。4階の高さまでに持ち上げられたことに驚く。

A2 さらに高い所へ上ろうと、机を積み上げ、塔屋に上った状況を再現している。

「防」として考え続けるきっかけを提供する施設」をコンセプトに、2022年10月に開館。南三陸町民たちの言葉や語りなどを震災伝承の柱にしなから、事実を知るだけではなく、「自分がある場にいたら、どう行動したか」「今後自分が自然災害に遭遇したら、どう判断し行動するか」を考えるための有料ラーニングプログラムを提供しています。館内では防災ミニブックを配布しているので、持ち帰って防災・減災について考え、話し合ってみましょう。

ほか、フランスの現代美術家・クリスチャン・ポルトانسキー氏のインスタレーション空間「MEMORIAL」を展示しています。みんなの広場では、写真家・浅田政志氏と町民が一緒に作り上げた作品集「みんなで南三陸」から、19点を抜粋し展示。同施設の隣には南三陸町震災復興祈念公園があり、震災遺構の旧防災対策庁舎も見学できます。



無料エリアのみんなの広場は、復興支援への感謝、町民のくじけない心と生きる喜びを伝える空間。悲しみで落ち込むだけでなく、復興へと歩み続けてきた町民の力強く明るい姿に、見ている側が元気をもらえる



館内は無料・有料エリアで区分。有料エリアのギャラリーでは、住民たちの証言をもとに、震災のエピソードをまとめた震災遺物資料をはじめ、旧防災対策庁舎で被災した役場職員の証言映像などを見られる



有料エリアのラーニングシアター。住民たちの証言でまとめられた60分または30分のラーニングプログラム映像を見て、周りの人と対話しながら、自然災害を自分のこととして考えることができる

考えてみよう

Q1 クリスチャン・ポルトانسキー氏の作品「MEMORIAL(メモリアル)」にはどんな意味が込められ、どんな空間になっているのでしょうか？

Q2 地元産の南三陸杉をふんだんに使った同施設の設計は、建築家・隈研吾氏が担当しました。どんな物をイメージし、設計されたのでしょうか？

●みなみざんりくちょう
南三陸町

**南三陸町東日本大震災伝承館
南三陸311メモリアル**

●みなみざんりくちょうひがしにほんだいいんさいでんしょうかん
みなみざんりくざんいちいちめもりある

南三陸町の被害状況

最大震度 6弱
浸水面積 10km²
最大浸水深 32.75m

全壊 3,143棟
半壊 178棟
一部損壊 1,204棟

死者 620人
行方不明者 211人
負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド 車椅子OK

施設DATA

●みなみざんりくちょうひがしにほんだいいんさいでんしょうかん
みなみざんりくざんいちいちめもりある

**南三陸町東日本大震災伝承館
南三陸311メモリアル**

☎ 0226-47-2550 MAP P114D2

住 南三陸町志津川五日町200-1
交 BRT志津川駅から徒歩3分
時 9～17時
休 火曜(祝日の場合は翌日となる場合あり)
レギュラープログラム(60分):1000円、高校生800円、小・中学生500円
ショートプログラム(30分):600円、高校生500円、小・中学生300円
Pあり(大型バス:あり)
<https://m311m.jp>



●たかのかいかん

津川湾から約300mの平地に、昭和61年(1986)に建設された総合結婚式場高野会館は、震災以前は地域の一時避難場所になっていました。震災当日、同施設では町の高齢者の寄合いが行われていましたが、スタッフの的確な判断と迅速な誘導により、高齢者や近隣住民327人と、2匹の犬の命が助かりました。スタッフは定期的に避難訓練を実施し、各階に緊急時用の備蓄物資を備えていたなど、さまざまな対策や日頃からの防災意識、取組みが実を結んだのです。

現在は民間の震災遺構として保存。管理する南三陸ホテル観洋が語り部バスを毎日運行しています(有料要予約)。外から眺めるだけではなく、実際に建物の内部に入り、目の前で破損状況や津波浸水高などを確認できるのはとても貴重な経験。語り部スタッフに震災当時の様子を聞きながら、あの日に思いを巡らせてみましょう。

巨大な津波が4回も押し寄せ、4階付近まで浸水したが、スタッフの優れた判断で、屋上に避難した327人と犬2匹の命が救われた。3階と4階の間の外壁にある津波の高さを示す表示にも注目しよう



高野会館や町内の戸倉地区を回る語り部バス。震災遺構 旧防災対策庁舎も車窓から見学できる。平成29年(2017)には、「ジャパン・ツーリズムアワード大賞」を受賞。国内外から約35万人が同施設を訪れている



語り部スタッフたちが「物言わぬ語り部」とよぶ高野会館。語り部バスは毎日運行しており、1人でも参加できる。宿泊者のみならず、日帰りでも語り部バスだけの予約もできるが、出発時間が異なるので注意

●みなみざんりくちょう
南三陸町

高野会館

日頃の防災意識の大切さを物言わず語る



最大震度 6弱

浸水面積 10km²

最大浸水深 32.75m



全壊 3,143棟

半壊 178棟

一部損壊 1,204棟



死者 620人

行方不明者 211人

負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

語り部あり

※要予約

施設DATA

●たかのかいかん

高野会館

☎ 0226-46-2442(南三陸ホテル観洋) MAP P114D2

📍南三陸町志津川汐見町32-1

🚗三陸沿岸道路志津川ICから車で6分

🕒通常コース(ホテル出発8時45分(所要約60分))

高野会館コース(宿泊者限定): ホテル出発10時15分(所要約90分)

📅無休

👤通常コース: 中学生以上500円、小学生以下250円

高野会館コース(宿泊者限定): 中学生以上1000円、小学生以下500円

🅐あり(大型バス:あり)

※南三陸ホテル観洋の駐車場を利用
<http://www.mkanyo.jp/語り部バス>



考えてみよう

Q1 高野会館を管理する南三陸ホテル観洋が、同施設を民間の震災遺構として保存し、公開に踏み切った背景には、「震災を風化させないため」ということ以外にも理由がありました。それはまさに、高野会館の存在意義でもあります。それは何でしょうか?

A1 「想定に捉われない判断と最善を尽くした震災当時の行動を、未来へ語り継いでいくこと」。まずは知ってもらうことが重要だと考えている。

不定期開催の体験型プログラムは、災害時の避難場所を想定した山の頂上での小屋づくり、お手製のかまどでご飯を炊きピザを焼く避難所体験、災害に備えるための知識を得る自助・共助体験伝承プログラムなど、楽しみながら備災の意識を養える内容です。

東 日本大震災を経験し、「学んだこと」「後世に伝えるべきこと」「祈りたいこと」「残したい風景」を発信したいとの思いから、南三陸ホテル観洋が所有する森をホテルスタッフと町民有志、ボランティアが平成28年(2016)に整備を開始。被災者の笑顔と元気を取り戻せる場、慰霊・鎮魂の場、次世代に「備災」を伝える場として誕生しました。好天の日には志津川湾や荒島も一望。機械ではなく人力で造った森のため、デコボコの道には注意が必要です。その「手作り感」が登っていて楽しく、携わった人たちの思いが伝わってくるようです。



小高い丘には、海を見つめるように南三陸大仏が鎮座する。これはミャンマーの、ある商社の代表から、犠牲者を鎮魂するために贈られた大仏で、2019年に完成した。一緒に祈りを捧げよう



「人と自然との持続可能な共生と共創」を南三陸から世界へ発信している森。プログラムがない時は誰でも自由に登れる。東北の海岸沿いをめぐる「みちのく潮風トレイル」の立ち寄り場所としての活用も想定している



避難所での生活を想定し、自分たちで薪を割りピザを焼く体験型プログラム。インフラが絶たれた環境で生きるための技術を継承しながら、自然の恵みと脅威について考える場を提供している

考えてみよう

Q1 海の見える命の森は災害が起きたときに、避難場所としても利用することができます。森には小屋のほかにも、災害時に役立つものが設置されました。それは何でしょう?

●みなみざんりくちょう
南三陸町

●うみのみえるいのちのもり
海の見える命の森

みんなでつくった森で備災を学ぶ

南三陸町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	10km ²
最大浸水高	32.75m
全壊	3,143棟
半壊	178棟
一部損壊	1,204棟
死者	620人
行方不明者	211人
負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(森)

施設DATA

●うみのみえるいのちのもり
海の見える命の森

☎ 0226-46-2442(南三陸ホテル観洋) MAP P114D2

📍 南三陸町志津川黒崎99-17(南三陸ホテル観洋)

🚗 三陸沿岸道路志津川ICから車で10分

🕒 9時～日没

👤 散策自由 ※プログラムは要予約

👤 散策自由 ※体験料は1人1100円+道具レンタル料300円(昼食ピザ焼き体験1人1100円など。プログラムにより異なる)

🚗 あり(大型バス:あり)

※南三陸ホテル観洋の駐車場を利用

<https://umimori2011.wixsite.com/mysite>





*2009年1月現在

津波により児童74人と教職員10人が死亡・行方不明となった大川小。河口から約3.7km内陸に位置する大川小には、津波は到達しないと思われていました。しかし津波は川を遡上し、校舎の屋根(8・6m)までの高さとなって襲ったのです。大川地区では児童・教職員、そして多くの住民たちが犠牲となりました。

施設は犠牲者の慰霊・追悼の場であり、震災をめぐる事象と教訓、避難の重要性を考える防災教育の場として公開されています。遺構では津波の威力をねじり倒された渡り廊下などを柵の外から見学できます。大川震災伝承館には展示室と多目的スペースを設け、震災前の暮らしや地域のジオラマ模型のほか、発災当日の児童と教職員の足取りや人々の想いを記したパネルなどを展示。裁判記録や被災した校舎の内部を撮影した写真も閲覧もできます。

大川震災伝承館には、地震発生から津波が押し寄せるまでの時系列や証言を記したパネルを展示。なぜ多くの命が失われたのか、どうすれば助かったのかを、自分が住む場所を思い浮かべながら考えてみよう



遺構の内部には立ち入ることができないが、柵の外から見学できる。柵の付近に解説パネルやメッセージも設置されている。語り部を希望する場合は自身で伝承団体などに申し込む必要がある



校舎から体育館へつながる渡り廊下。鉄筋コンクリート製の廊下が、津波の威力で根元からねじり倒されている。大川小を襲った津波の力がいかにすさまじいものだったのかを感じられる

●いしのまきし

石巻市

石巻市震災遺構大川小学校

川と陸から襲った巨大津波の威力を伝える

最大震度 6強
浸水面積 73km²
最大浸水深 25.99m

全壊 20,044棟
半壊 13,049棟
一部損壊 23,615棟

死者 3,188人
行方不明者 414人
負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

車椅子OK

※校庭は天候次第でぬかるむ場合あり

施設DATA

●いしのまきしんさいいごうおおかわしょうがっこう

石巻市震災遺構大川小学校

☎0225-24-6315 MAP P114D3

①石巻市釜谷字雫島94

②三陸沿岸道路河北ICから車で20分

③9~17時(大川震災伝承館は最終入館16時30分)

④石巻市震災遺構大川小学校は無休。大川震災伝承館は水曜(祝日の場合は翌日)。特別開館日である毎月11日、6月12日、9月1日、11月5日が水曜の場合は翌日)

⑤無料

⑥あり(大型バス:あり)

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/ruins/index.html>



注①出典:東日本大震災からの復興・復興の歩み 取組の総括,令和4年3月,石巻市

考えてみよう

Q1 ねじり倒された渡り廊下は、海側に向かって押し出されるように倒れています。なぜそのような向きになったのでしょうか?

Q2 大川震災伝承館には、「様々な想い」と題したコーナーがあり、生き残った人たちの想いがつづられています。何のために設置されたのでしょうか?

A1 川を遡上した津波が海に向かって押し寄せた。津波は海から来るとは限らない。
A2 生き残った人たちの思いを知り、「自分だったら」と考えてほしいから。

石 巻地方で110年間、夕刊を発行している石巻日日新聞社の運営施設。災害時の情報のあり方、伝え方などを知ってもらおうと、新聞創刊100周年を記念し、開館しました。館内では、防災翌日の3月12日から17日まで避難所に貼り出した手書きの壁新聞(実物)を公開。これは新聞社が被災し、印刷不可能となった状況で書き、避難所に届けたもので、被災した住民に地域の情報を伝えるために制作した号外でした。地域情報を伝えるという使命を全うした、新聞社の仕事に対する責任感をひしひしと感じられます。震災当時の記者が手書きの壁新聞などについて解説してくれる講話(有料、要予約)も実施。当事者だから語れる震災の様子、心情に耳を傾けましょう。被害状況を記録した報道写真の展示からは震災直後の石巻の状況がわかり、自身の災害への備えを見つめ直すきっかけをくれます。



「各地より救難隊到着」「電気からライフライン復旧へ」「全国から激励メッセージ」「電気復旧1万戸超す」などと、日を追うごとに少しずつではあるが、状況が好転するような見出しが目につく



「ニューゼ」とは、「ニュース」とフランス語で博物館を意味する「ミューゼ」を合わせた造語で「ニュース博物館」という意味。被災していた最中でも新聞社として地域のニュースを伝え続けた



石巻市の被災状況を、3月11日から時間を追って展示。写真にはそれぞれ説明が添えられているので、震災当時の様子がよくわかる。語り部ガイドは所要30~60分、**1000円**(学生500円) ※要予約

考えてみよう

Q1 3月12~13日の壁新聞には「正確な情報で行動を!」というメッセージが書かれていました。この言葉に込められた、新聞社のメッセージとは?

Q2 手書きの壁新聞は多くの被災者に読まれ、心の支えとなりました。震災当時、情報を得るためにはどのような状況だったか考えてみましょう。

A1 災害時にはデマが流れることも。情報を鵜呑みにせず、見極めることが重要だということ。

A2 発災直後は、地域全体が停電となり携帯電話も通話不能になった。身近な情報さえも知ることができなかった。

●いしのまきし
石巻市

●きずなのえき いしのまきにゅーぜ
絆の駅 石巻ニューゼ

被災地や住民の支えとなった手作り壁新聞

石巻市の被害状況

最大震度 6強

浸水面積 73km²

最大浸水深 25.99m

全壊 20,044棟

半壊 13,049棟

一部損壊 19,948棟

死者 3,553人

行方不明者 417人

負傷者 (数字未記載)

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

語り部あり 車椅子OK
※要予約

施設DATA

●きずなのえき いしのまきにゅーぜ
絆の駅 石巻ニューゼ

☎ 0225-98-7323 MAP P114D3

📍 石巻市中央2-8-2 ホシノボックスピア1階

🚶 JR石巻駅から徒歩10分

🕒 11~16時

🗓 休月・木曜

🆓 無料

📍なし ※徒歩圏内に市営駐車場あり

🌐 <https://hibishinbun.com/newsee>



Kadonowaki Elementary School Ruins

発災時、学校にいた児童や教職員たちは裏手にある日和山に避難しましたが、地震から約1時間後に巨大津波が襲来。そして火災が起こりました。外部通路から内部を見学できる遺構(本校舎)は、1階が津波と津波火災・2・3階は津波火災の爪痕が残っており、上へと逃げる「垂直避難」だけでは、危険な局面もあることを伝えています。展示館では日頃からの訓練や地域を知ることの大切さ、自然とともに育まれた命の尊さを伝える展示が見られるほか、語り部による講話やワークシートを使った学習、応急仮設住宅に入る体験もできます。

展示館(特別教室)の2階。過去、石巻平野には少なくとも3回は大きな津波が来ていたことを示す地層の標本を展示。過去の自然災害を解き明かしていくことで、現在、そして未来への備えとなる



館内解説ガイドは60分と90分の2コース(☎60分・90分ともに1グループ3000円※1~5人まで、要予約)。タブレット端末で各展示の解説を音声と字幕で聞く(見ること)もできる(☎200円)



展示館(屋内運動場)で公開している被災した車両。ほかに、移設(一部復元)した応急仮設住宅が展示され、3Kの間取の部屋では、メッセージが書かれた内壁を見ることができ

考えてみよう

Q1 展示物で多いのは一般的に写真や映像ですが、展示館3階の「記憶を紡ぐ」では、少し珍しい表現を用いています。それは何でしょうか?

Q2 展示している仮設住宅は、実際に中に入り、壁の薄さや音の響きなどを体験することができます。なぜ、内部見学できるようにしているのでしょうか?

A1 震災からの学びを言葉と絵で表現。自分のペースで読もう。

A2 狭い空間での工夫、また不安やストレスがあったことを想像してほしいから。

●いしのまきし

石巻市

石巻市震災遺構門脇小学校

●いしのまきししんさいいこうかどのわきしょうがっこう

津波火災の恐ろしさを知り、教訓を生かす

最大震度
6強

浸水面積
73km²

最大浸水深
25.99m

全壊
20,044棟

半壊
13,049棟

一部損壊
23,615棟

死者
3,188人

行方不明者
414人

負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

施設ガイド 音声ガイド
※要予約
車椅子OK

施設DATA

●いしのまきしんさいいこうかどのわきしょうがっこう

石巻市震災遺構門脇小学校

☎ 0225-98-8630 MAP P114D3

☉ 石巻市門脇町4-3-15

☉ 三陸沿岸道路石巻ICまたは石巻河南ICから車で15分

🕒 9~17時(最終入館3~10月は16時、11~2月は15時30分)

🗓 月曜(祝日の場合は翌日)。特別開館日である毎月11日、6月12日、9月1日、11月5日が月曜の場合は翌日

🎫 600円、高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料

🅐 あり(大型バス:なし※乗降のみ可)

<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/ruins/index.html>



注① 出典:東日本大震災からの復旧・復興の歩み 取組の総括,令和4年3月,石巻市

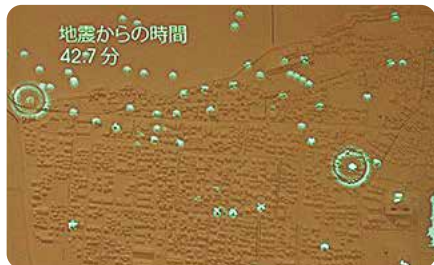
「未」というコンセプトのもと、災害時の心構えや防災教育を伝える施設として2021年に新設。2面投影シアターでは、被害状況とともに生存者の証言映像を上映。「災害を想定できなかつた」「家族を捜しに戻る」ことが一番危険だったのかもなど生存者が語る本音からは多くの学びがあります。プロジェクトクションマッピングを用いた実際の避難行動を可視化した展示では、地域住民100人へ聞き取りを行い、地震発生から津波が来るまでの約60分の動きを示しています。家の片づけをしているなど最初は命の危険を感じていない人がほとんどですが、津波が堤防を越えてからは緊迫状況が伝わります。また、石巻南浜津波復興祈念公園(P65)や石巻市震災遺構門脇小学校(P66)周辺を語り部と巡り、震災で激変した町並みや人々の行動を追体験できる屋外ツアーも受け付けています。



質問すると館内スタッフが実体験を交えながら丁寧に案内してくれる。語り部(所要1時間～、1人770円～ ※要予約)や屋内での講話、市街地を歩くプログラムなどを提供し、オンラインでも対応可能



子ども防災学習コーナーでは震災当時小学生～高校生だった被災者6人の実体験をもとに作成した、漫画動画を上映。友達を亡くした方、津波で壊れた家から発災9日後に救出された方が、思いや教訓を伝える



東北大学災害科学国際研究所と3.11メモリアルネットワークが共同制作し、地域の人々の避難行動を可視化したプロジェクションマッピング。あの日の津波想定と人々の行動がリアルに伝わる

考えてみよう

Q1 プロジェクションマッピングでは、3月11日の地震発生後、家の片付けで移動しない人、浸水エリア外から次々戻ってくる人などの実際の動きが可視化されています。もし自分や家族がこの場所にいたら、どんな行動ができたでしょうか？

いしのまきし
石巻市

●でんしょうこうりゅうしせつみーとかどのわき
伝承交流施設MEET門脇

”できなかつたこと”も伝え、未来の備えに

石巻市の被害状況

最大震度 6強
浸水面積 73km²
最大浸水深 25.99m

全壊 20,044棟
半壊 13,049棟
一部損壊 19,948棟

死者 3,553人
行方不明者 417人
負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

- 施設ガイド
- 語り部あり ※要予約
- 車椅子OK

施設DATA

●でんしょうこうりゅうしせつみーとかどのわき
伝承交流施設MEET門脇

☎ 0225-98-3691 (3.11メモリアルネットワーク) MAP P114D3

①石巻市門脇5-1-1
②三陸沿岸道路矢本ICから車で15分
③10～17時(最終入館は16時30分)
④水曜(ただし月命日の11日は閉館)
⑤300円(高校生以下は無料)
⑥あり(大型バス:なし)
https://311support.com/
learn311/meetkadonowaki



安 全な高台にあった幼稚園
 乗り、津波と火災に巻き込まれ、幼い5人の命が失われました。この慰霊碑は、遺族有志の会が平成30年(2018)に建立。5人が確かに生きていたこと、そして、有事の際には何よりも命を守る行動を優先してほしいという思いを今に伝えていきます。慰霊碑の前に立つ「モノメント」は、魂が天に昇っていく姿をイメージしたデザインで、高さは亡くなった園児の背丈ほど。訪れた人たちは、子どもをかわいがるように、球体部分を優しくなでていくそうです。

遺族有志の会では語り部も実施(有料、要予約)。亡くなった園児たちを乗せたバスが立ち寄った門脇小学校など実際のルートをとどりながら、バスの発見場所、慰霊碑までを案内しています。園児たちに起きたことを知り、何かを感じ、持ち帰ってほしい。物の備えよりも心の備えの重要性を伝えています。

慰霊碑の横には日和幼稚園の悲劇をまとめたパネル解説も。道を挟んだ向かいには石巻南浜津波復興祈念公園(P65)があり、震災伝承施設が徒歩圏内に点在しているので併せて巡りたい



震災3日後、慰霊碑から徒歩数分の場所で、遺族らによって発見されたバス。語り部(所要1時間30分、①1~10人5000円、11~20人8000円※要予約)と実際に歩くと、町内の距離感がつかめる



バスから見つかったクレヨンケースと上履きは、上履きに付着していた布の柄から持ち主がわかった。「たくさんの方に見ていただきたい」と、遺族が伝承交流施設MEET門脇(P63)に託し展示されている

？ ？ 考えてみよう

- Q1 慰霊碑が立つ場所は、日和山へ上る坂道の起点近くにありますが。この場所には、遺族のどんな思いが込められているのでしょうか？
- Q2 慰霊碑前のモノメントは、球体を支える円柱が5つの半円でデザインされています。これは、何をイメージしているのでしょうか？

A1 「何かあった時は、この慰霊碑よりも上の、安全な場所に逃げて」という願いが込められている。

A2 5枚の花びらをイメージしてデザインされた。

●いしのまきし

石巻市

東日本大震災慰霊碑
 (日和幼稚園被災園児慰霊碑)

●ひがしほんだいしんさいいれいひよりょうちえんひさいえんじいれいひ

5人の幼子が教えてくれる心の備えの大切さ

石巻市の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	73km ²
最大浸水深	25.99m
全壊	20,044棟
半壊	13,049棟
一部損壊	19,948棟
死者	3,553人
行方不明者	417人
負傷者	

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

語り部あり 車椅子OK
 ※要予約

施設DATA

●ひがしほんだいしんさいいれいひ (ひよりょうちえんひさいえんじいれいひ)

東日本大震災慰霊碑
 (日和幼稚園被災園児慰霊碑)

☎ 0225-98-3691 (3.11メモリアルネットワーク) MAP P114D3

- ④ 石巻市門脇5-242番地内
- ③ 三陸沿岸道路矢本ICから車で15分
- 🚶 徒歩 見学自由
- 🅑なし (石巻南浜津波復興祈念公園内、聖人堀駐車場を利用)
- https://www.311hiyori.com



宮 城県にある震災伝承施設などの玄関口となるべく、2021年に開館。シアターで上映するリアルな津波映像や、科学的視点に基づく解説に加え、被災した方や救命活動に携わった方の証言を織り交ぜた映像から、津波から命を守るには逃げるしかないという教訓を訴えています。被災した方が震災当時から現在に至るまでの心情を語る映像も視聴でき、震災にどう向き合い、立ち上がってきたのかなど、多角的に震災を考えるきっかけを提示しています。館内には解説員が常駐し、希望に合わせて案内も可能です。

伝承館が位置する石巻南浜津波復興祈念公園では、初代のがんぼろう！石巻看板P66や東日本大震災メモリアル南浜つなぐ館P67なども見学可能。公園の外にも、石巻市震災遺構門脇小学校P62や伝承交流施設METT門脇P63など、伝承施設が集まっているので巡ってみましょう。



石巻南浜津波復興祈念公園全景。右に旧北上川、手前に太平洋を臨む。伝承館や追悼の広場を中心に、エリアには震災遺構や展示施設など複数の伝承施設が集まる。すべて徒歩圏内なので併せて訪れよう



伝承館内のパネル。リアルな津波の映像や被災者の証言などをまとめ、津波から命を守るためには「逃げるしかない」ことを訴える。震災がきっかけで生まれた、地域の復興に関する取組みなども紹介している



追悼の広場は、公園のほぼ中央に位置。献花台を常設しており、多くの人々が集い、亡くなった方を追悼する場となっている。この地を象徴する善海田池(ぜんかいだいけ)に面した場所には、祈りの場も設置

？ ？ 考えてみよう

Q1 みやぎ東日本大震災津波伝承館の建物で、一番高い北側の屋根の高さは6.9mです。この数字は、何を表しているでしょうか？

Q2 追悼の広場は、円形のデザインが特徴的な広場ですが、何を目的に、このようなデザインで造られたのでしょうか？

A1 この地を襲った津波が停滞した時の高さ。実際に立ってみてその高さを実感してみよう。 **A2** 全方位から亡くなった方を追悼できるようにと、一方方向ではない円形にデザインされた。思いを込めて祈りを捧げよう。

いしのまきし
石巻市

●みやぎひがしにほんだいいんさいつなみでんしょうかん(いしのまきみなみはまつなみふつこうきねんこうえん)
みやぎ東日本大震災津波伝承館
(石巻南浜津波復興祈念公園)

南浜エリアにおける復興のシンボル

石巻市の被害状況

最大震度 6強
浸水面積 73km²
最大浸水高 25.99m

全壊 20,044棟
半壊 13,049棟
一部損壊 19,948棟

死者 3,553人
行方不明者 417人
負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド 車椅子OK

施設DATA

●みやぎひがしにほんだいいんさいつなみでんしょうかん(いしのまきみなみはまつなみふつこうきねんこうえん)
みやぎ東日本大震災津波伝承館
(石巻南浜津波復興祈念公園)

☎ 0225-98-8081 MAP P114D3

📍 石巻市南浜町2-1-56
🚗 三陸沿岸道路石巻港ICまたは石巻河南ICから車で15分
🕒 9～17時(最終入館は16時30分) ※公園は9～18時(10～3月は～17時)
📅 月曜(祝日の場合は翌日) ※毎月11日は曜日・祝日にかかわらず閉館 ※公園は無休
🆓 無料
🅇 あり(大型バス:あり)



「高台」に避難していた方たちが自宅のあった低地に戻った時に、少しでも顔を上げてほしかった。そんな思いを抱いた地元の有志が震災発生約2週間後から計画を立て、1カ月後にはがれきの材木などを再利用して製作した看板です。現在は震災の教訓を後世に伝えるスポットとして、5年おきに作り替え、継続して展示しています。その活動の様子は近隣にある東日本大震災メモリアル南浜つなぐ館(P7)で詳しく紹介。なかには初代看板が設置されて間もない、平成23年(2011)4月20日に撮影された写真も。辺り一面をがれきや流されてきた車に囲まれ、ボツンと佇む真新しい看板に言葉の力を失います。2023年1月現在は3代目で、初代看板とは設置場所が異なりますが、高さ約2m、幅約11mの大きさはずっと同じ。被災した方たちが住む災害公営住宅の方向を向く姿も、初代のおまです。

初代看板の写真。設置して間もない平成23年(2011)5月にはこいのぼりを飾り、子どもたちの成長と復興を願った。季節に合わせて七夕飾りやクリスマスツリーを配し、地域の人々を励まし続けている



平成24年(2012)7月に設置された津波到達ポール。地区内でも津波の高さや勢いは、地形や高低差により異なるが、初代看板の近くにあった解体する前のガンリンスタンド2階の津波の跡から高さを測り、6.9mと推察した



看板は5年に一度地元の中学生たちと協力して作り替え、継続して展示している。これまでに2回作り替えており、看板を作ることをきっかけに、震災の記憶を次の世代に伝えている

●いしのまきし

石巻市

●がんばろう!いしのまきかんぱん

がんばろう!石巻看板

あの時も今も、住民に寄り添い鼓舞する看板

石巻市の被害状況

- 最大震度 6強
- 浸水面積 73km²
- 最大浸水深 25.99m
- 全壊 20,044棟
- 半壊 13,049棟
- 一部損壊 19,948棟
- 死者 3,553人
- 行方不明者 417人
- 負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●がんばろう!いしのまきかんぱん

がんばろう!石巻看板

☎ 0225-23-9638 (がんばろう!石巻の会) MAP P114D3

📍 石巻市南浜町3丁目地内(石巻南浜津波復興祈念公園内 市民活動拠点)

🚗 三陸沿岸道路石巻港ICまたは石巻河南ICから車で12分

🕒 随時見学自由

📍あり(大型バス:あり)

<https://gannbarouishinomaki.jimdofree.com>



考えてみよう

Q1 初代看板の時に、津波によってどこからか流されてきた種が看板近くに流れ着き、たくましい生命力で芽を出し、震災の年の夏に咲いた花がありました。当時、「ど根性〇〇〇〇」と名付けられ、大きな話題を呼んだ花は、何の花だったでしょうか?

A1 ヒマワリ。2世3世と大切に生命をつなぎ、現在では全国、海外でも大切に育てられている。

石 巻南浜津波復興祈念公園(P.65)の角で、震災の
 実情と教訓を伝えています。約
 80人の震災当時の避難行動を
 可視化したものに、津波のシ
 ミュレーションを重ねた映像を
 製作、上映。迫りくる津波に
 人々の動きが慌ただしくなる
 様子がリアルで、住民の方の証
 言と併せ見ることで避難行動へ
 の理解が深まります。また、館
 内では毎月1回、公開語り部の
 会(無料、予約不要)を開催。時
 にインタビュ形式で話を伺う
 こともあり、震災の記憶を次世
 代に語り継ぐとともに語り部育
 成を担う場にもなっています。
 「津波伝承AR」アプリの活
 用にも積極的で、誰でもインス
 トールが可能。画面上のピンを
 タッチすると、昔の様子や震災
 後の状況を切り取った「街の記
 憶」、生存者から聞き取りをし
 た「避難行動」、そして実体験か
 ら得た「教訓」が見られます。実
 際の場合と照らし合わせなが
 ら活用してみましょう。



同施設のある一帯が市民活動拠点となっているため、
 伝承や植樹活動など幅広い活動内容も紹介している。
 毎年3月11日に行われる追悼行事「3.11のつどい」をは
 じめ、市民が中心となった行事が数多く開催される



石巻南浜津波復興祈念公園の徒歩圏内には「津波伝承AR」アプリ上にアップされているポイントがたくさんある。今後も来館者の目線で伝わりやすい内容にアップデートしていく予定だ



「津波伝承AR」を用いたプログラムは、「防災まちあるき」と「南浜・門脇ツアー」(所要1時間~1時間30分、
 1320円、高校生以下770円※要予約)の2種類。タブレット貸し出しも可能

考えてみよう

Q1 この施設や周辺のがんばろう!石巻看板、育苗ハウスなどでは、市民団体により多様な活動が行われています。被災地域には、活用方法の決まっていない低平地が広がっていますが、このような大規模災害の跡地をどのように活用し、震災を伝えていけばよいでしょうか?

いしのまきし
石巻市

●ひがしにほんだいしんさいめもりある みなみはまつなぐかん
**東日本大震災メモリアル
 南浜つなぐ館**

街の記憶を伝え、人と地域をつなぐ活動の拠点

石巻市の被害状況

最大震度 6強
 浸水面積 73km²
 最大浸水深 25.99m

全壊 20,044棟
 半壊 13,049棟
 一部損壊 19,948棟

死者 3,553人
 行方不明者 417人
 負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは進捗資料の通りに掲載

展示
 交流拠点

語り部あり 車椅子OK
 ※要予約のプログラムあり

施設DATA

●ひがしにほんだいしんさいめもりある みなみはまつなぐかん
**東日本大震災メモリアル
 南浜つなぐ館**

☎0225-98-3691 (3.11メモリアルネットワーク) MAP P114D3

📍石巻市南浜町3-1-1
 三陸沿岸道路矢本ICから車で15分
 🕒10~16時
 📅休不定休
 🆓無料
 🚌あり(大型バス:あり)
https://311support.com/learn311/tsunami_museum



町内にある津波記憶石は、彫刻家の前田耕成氏が「女川町の大切なもの」「女川町の宝物」をイメージしデザイン。女川中学校卒業生の言葉も刻まれている。女川港を望む、海拔18m（津波到達地点）の場所に立つ

●ひがしにほんだいいんさいいこう きゅうおながわこうぼん
東日本大震災遺構 旧女川交番

●ひがしにほんだいいんさいいこう きゅうおながわこうぼん

鉄 筋コンクリート2階建てだった女川交番は、津波の引き波により基礎部分の杭が引き抜かれ、横倒しに。津波の襲来時警官2人は避難誘導のため交番にはおらず、無事でした。町はこの交番を遺構として保存することを検討。町民の気持ち、遺構の学術的な価値、新しいまちづくりの中での位置づけ、維持管理上の問題などを総合的に判断し保存を決め、2020年から公開しています。

あえて時間とともに劣化していく姿を容認する「見守り保存」という手法で保存しているため、建物正面の壁がなくなり、基礎部分がむき出しになった様子も震災当時のまま見学できます。また、女川町では防潮堤を造る代わりに土地全体をかさ上げし、住宅は高台に移すことで津波から命を守るまちづくりを実践。旧女川交番は地盤の高さも震災前のままなので、かさ上げをした周囲の土地との高低差を体感できます。

町内にある津波記憶石は、彫刻家の前田耕成氏が「女川町の大切なもの」「女川町の宝物」をイメージしデザイン。女川中学校卒業生の言葉も刻まれている。女川港を望む、海拔18m（津波到達地点）の場所に立つ



震災前の地盤の高さから復興事業で造成した地盤の高さまでのスロープを設置し、交番を囲う壁に被災状況などをパネルで展示。まちづくりの過程も紹介しており、困難に立ち向かった人々の様子を伝えている



10年以上が経過し、遺構には植物が生えている。人工物の旧交番が劣化していく一方で、正反対の自然物である植物は成長していく様子を、震災から活気を取り戻していく町、顔を上げて前を向く人々の姿が重なる

●おながわちょう
女川町

東日本大震災遺構 旧女川交番

建物も地盤も当時のままの「見守り保存」

女川町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	3km ²
最大浸水深	19.98m
全壊	2,924棟
半壊	349棟
一部損壊	661棟
死者	615人
行方不明者	257人
負傷者	

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

車椅子OK

施設DATA

●ひがしにほんだいいんさいいこう きゅうおながわこうぼん

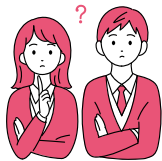
東日本大震災遺構 旧女川交番

☎ 0225-24-8118 (女川みらい創造) MAP P114D3

- 📍 女川町海岸通り1
- 🚶 JR女川駅から徒歩5分
- 👁️ 見学自由
- 🅇 あり(大型バス:あり)

考えてみよう

Q1 震災当時のまま保存し、あえて時間とともに朽ちていく姿も見てもらおうとしている旧女川交番。除草作業をしていないため、所々に植物が生えています。この植物には、どんな意味があると思いますか？



A1 「復興」や「再生」という明るい未来の象徴。破壊された人工物(遺構)と対比させ、自然物(植物)の成長を見ている。

東 日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂を祈念し整備された公園で、伝承施設、祈念広場、震災遺構が1カ所にまとめられています。

平成28年(2016)にオープンし、2020年にリニューアルした東松島市震災復興伝承館は、旧野蒜駅舎を改修した施設。震災の記憶と教訓を風化させることなく後世に伝えることを目的に設立し、震災前後が比較できる市内の写真の展示パネルの設置、震災アーカイブ映像の上映、国内外の支援活動の紹介などを行っています。復興の取組みや過程も幅広く紹介しており、災害の被害を伝えるだけではない展示内容になっているのが特徴です。巨大津波が襲った旧野蒜駅のプラットフォームは、震災遺構として保存。駅名標や線路の一部などが、被災当時のままの姿で残されており、間近で見るとひしゃげた鉄柱からは、津波の威力や恐ろしさを感じ取ることができます。



伝承館の2階には、地震が発生した時間で止まった時計や津波にのまれた券売機など当時を物語る駅舎ならではの品々が。ほかに、東松島市内の各地における震災の記録を数々公開している



旧野蒜駅舎を改修し、震災の記憶と教訓の伝承を目的に設置された東松島市震災復興伝承館。復興に関する取組みや震災前後の東松島市を紹介する展示、映像、国内外の支援活動の紹介コーナーを設けている



かつては奥松島観光の玄関口として、たくさんの観光客に利用されていた旧野蒜駅。大津波が襲った駅のプラットフォームを震災遺構と位置づけ、駅名標や曲がった線路の一部などをそのままの形で保存している

●ひがしまつしまし

東松島市

東松島市東日本大震災復興祈念公園

●ひがしまつしましひがしにほんだいいんさいふこうきんこうえん
旧駅舎の名残をとどめる祈念公園



最大震度 6強

浸水面積 37km²

最大浸水深 10.35m



全壊 5,519棟

半壊 5,558棟

一部損壊 3,504棟



死者 1,110人

行方不明者 23人

負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑公園

施設ガイド

車椅子OK

※1階まで。階段昇降機で2階も利用可能

施設DATA

●ひがしまつしましひがしにほんだいいんさいふこうきんこうえん

東松島市東日本大震災復興祈念公園

☎ 0225-86-2985 MAP P115C3

⑤ 東松島市野蒜北余景56-36

⑥ 三陸沿岸道路鳴瀬奥松島ICから車で10分

⑦ 9~17時(祈念広場は入場自由)

※10人以上で来館する場合は要連絡

⑧ 第3水曜(祈念広場は無休)

⑨ 無料

⑩ あり(大型バス:あり)

考えてみよう

Q1 祈念広場でひととき目を引く震災復興モニュメント(慰霊碑)。波模様が施されたモニュメントの高さは3.7mです。この高さは何を示しているのでしょうか?

Q2 震災復興モニュメントの内部には、犠牲者一人一人の名前を刻んだ芳名板があり、背面には多くの正円が刻まれています。どんな意味があるのでしょうか?

A1 この地に襲来した津波の到達高。ちょうどその高さに波模様が施されており、イメージしやすくなっている。
A2 御霊を表す円を模様として刻み、「忘れない」という思いを込めた。一人一人に思いを馳せ、祈りを捧げよう。

注①出典:東日本大震災復興記録誌、令和3年3月31日、東松島市



●いしださわぼうさいせんたー

松島地区は松島湾に点在する260を超える島々が津波の勢いを衰えさせ壊滅的な被害は免れたものの、浸水は2kmに及びました。そこで防災まちづくりの拠点として機能すると同時に、災害時には情報提供や炊き出し、救護所などの拠点として、また帰宅困難になった地域住民や観光客などの避難所の役割を担う施設として整備されました。防災無線設備を備えるだけでなく、施設の隣には倉庫を配置し、有事の際の毛布や水・食糧を備蓄しています。

普段は震災の記録集や展示スペースを併設した防災センター棟を無料休憩所として開放。松島町を訪れた観光客も防災について学べる場として震災発生時から復旧・復興までの歩み、道路・河川・港湾の各業務の取組みをパネルや映像で紹介しています。書籍コーナーでは、災害関連の記録や資料を閲覧することも可能です。

立体模型(地図)上に、プロジェクションマッピングで映像を投影した三次元シミュレーションを「防災」「復興」「歴史」「観光」「基礎」のテーマで体験。津波のシミュレーションは立体表示でわかりやすい



ピーク時の3月12日には避難所の数が45カ所、避難者の数も3719人にのぼったことが掲示されている。被害状況をはじめ、復興計画、観光・産業の復興への取組みなどテーマごとにパネル展示している



長さ30m、幅12m、高さ9mの広さを誇る、木造大空間の防災センター棟。施設はほかに、会議室棟、トイレ棟、それらをつなぐ長さ70mの縁側空間から構成される。建物の段差をなるべく減らしたデザインも特徴

●まつしままち

松島町

石田沢防災センター

災害時には地域住民や観光客を守る避難所



最大震度 6弱

浸水面積 2km²

最大浸水深 2.6m 注①



全壊 221棟

半壊 1,785棟

一部損壊 1,561棟



死者 7人

行方不明者



負傷者 37人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●いしださわぼうさいせんたー

石田沢防災センター

☎ 022-253-7110 MAP P115C3

📍松島町松島石田沢12-2

🚗三陸沿岸道路松島海岸ICから車で5分

🕒9~17時(冬期は~16時30分)

🌞水曜(祝日の場合は翌平日)

🆓無料

🚗あり(大型バス:あり)

考えてみよう

Q1 260を超える島々が津波の勢いを衰えさせ、町は壊滅的な被害から免れることができましたが、太平洋沿岸部にみられる「リアス海岸」の独特な地形は、一般的に津波の被害が大きくなると言われています。それはなぜでしょうか?



① V字型の湾では、津波が湾の奥へ進むほどエネルギーが集中し、波が押し込まれて高くなる。岬の先端でも、津波が海岸線に対して平行になろうとしてエネルギーが集中し高くなりやすい。

注① 出典:復興のあゆみ、令和3年3月、松島町

東京2020復興のモニュメントは、被災地から世界へ支援に対する感謝や、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場するアスリートへ応援メッセージを届けるとともに、「世界から被災地へ」「東京2020大会の応援への感謝やスポーツのもつ力・感動を届け、被災地を元気づけるといふ、一方通行ではないコミュニケーションを図ることをコンセプトとした事業です。

被災地で開催されたワークショップにおいて、中高生が決定したデザインやメッセージをもとに、東京藝術大学の学生がモニュメントを制作。東京2020大会開催中は、国立競技場近くの関連施設に設置されています。カットされたダイヤモンドがモチーフの全長2mを超えるモニュメントには、中高生からの感謝のメッセージや、東京2020オリンピック・パラリンピック選手のサインも描かれています。



国際オリンピック委員会のトーマス・バッハ会長や、東京2020組織委員会の橋本聖子会長からのメッセージやサインも確認できる。ほかにもどんなアスリート、大会関係者がいるのか、じっくり見てみよう



東京藝術大学の学生と被災地の中・高生が共同して制作した。鮮やかな色使いに、元気がもらえる。ダイヤモンドのような面で形づくられたモニュメントには、宮城県仙台市出身、卓球の張本智和選手のサインも



大会開催中は、被災地から応援の気持ちをアスリートに届けていた。大会終了後は、アスリートらのサインを加工し、グランディ・21宮城県総合運動公園へ移転。モニュメント横には制作の流れがわかるパネルもある

考えてみよう

Q1 東京2020復興のモニュメント制作に用いられた素材は、再生アルミです。これは、東北被災3県で使用されていた仮設住宅のある部分を回収し、リサイクルしたものです。それは、住宅の一体どこでしょうか？

A1 仮設住宅で使われた窓(アルミサッシ)を回収し、リサイクルした再生アルミでモニュメントを制作した。

●りふちよう
利府町

●とうきょうにーせろにーせろ ふつこうのものゆめんと
東京2020復興のモニュメント

被災地と世界を結び、互いの力に変える

利府町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	0.5km ²
最大浸水深	2.79m
全壊	56棟
半壊	901棟
一部損壊	3,564棟
死者	2人
行方不明者	
負傷者	4人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他
(モニュメント)

施設DATA

- とうきょうにーせろにーせろ ふつこうのものゆめんと
東京2020復興のモニュメント
- ☎ 022-356-1122(宮城県総合運動公園) MAP P115C3
- 📍 利府町菅谷字館40-1
- 📍 仙台北部道路利府しらかし台ICから車で3分
- 🕒 8~18時(第1駐車場の利用可能時間)
- 🆓 無料
- 🅇 無料
- 🅇 あり(大型バス:あり)



発 災後の1週間に焦点を当て、あの時何が起こり、人々は何を求め、状況はどう変化していったのかを日ごとに記録、展示しています。「7日間の記録」コーナーでは、被害状況や避難者数、インフラの状況、当時困ったことなどを記載。「ブレーカーを切る」など段階的に大切なこと、自分にできることが整理されているのでわかりやすく防災を学べます。「毛布や暖房器具が足りず寒かった」から「電気がつき、拍手して喜んだ」まで徐々に希望へと変化する被災した方の体験談にも注目してください。

ほかに浦戸諸島を含む塩竈市とその周辺の地形や津波浸水区域がわかる立体模型、津波・災害関連の資料や記録も展示。海上保安庁の巡視船まつし（震災当時）が、地震発生の約1時間後に、海上で10mの大波を乗り越える映像の上映と、実際に使われていた羅針盤機器の展示も行っています。

自分でジョグダイヤルとボタンを操作しながら、地震から7日間の記録を3画面ディスプレイで表示できる「知識の種」コーナー。震災当時の天気や市街地の状況がCGで再現されている



被災後7日間を1日ごとに記録したタペストリー。被害状況や避難者数、電気・水道・ガス・食料・交通・情報通信などインフラの状況を記載。塩竈市で撮影された、さまざまな津波の映像も常時上映している



展示スペースでは、浦戸諸島を含む塩竈市とその周辺の地形や津波浸水区域がわかる立体模型を見ることができ。津波についての解説資料、塩竈市への応援派遣職員のメモリアルプレートなどの展示も

●しおがまし
塩竈市

●しおがましつなみぼうさいせんたー
塩竈市津波防災センター

発災後1週間の記録から実用的な防災を学ぶ

塩竈市の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	6km ²
最大浸水深	4.9m
全壊	672棟
半壊	3,278棟
一部損壊	6,993棟
死者	42人
行方不明者	
負傷者	11人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド 車椅子OK

施設DATA

●しおがましつなみぼうさいせんたー

塩竈市津波防災センター

☎022-794-7232 MAP P115C3

④塩竈市港町1-4-1

⑤JR本塩釜駅から徒歩10分

🕒9~17時

🗓月曜、第2火曜（祝日の場合は翌平日）、臨時休館あり

🆓無料

🅕なし（マリンゲート塩釜駐車場など民間駐車場を利用）

？ ？ 考えてみよう

Q1 市営汽船が運休した際の浦戸住民の一時待機場所としての機能なども担っているため、館内には食料など多くの物が備蓄されています。来館者が自由に座れるよう箱型の椅子が置いてありますが、これは緊急時にある物に変わり、人々の役に立ちます。一体、何でしょうか？

A1 箱型の椅子は、集めると簡易ベッドに変身。倉庫には約1400人分のアルファ米や水、毛布なども備蓄している。

●しちがはままち

七ヶ浜町

七ヶ浜町の被害状況



最大震度 5強

浸水面積 4.8km²

最大浸水深 12.1m



全壊 674棟

半壊 650棟

一部損壊 2,605棟



注① 死者 97人

行方不明者 2人

負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

新たな津波対策もなされた粘り強い防潮堤

●さんてんいちひがしにほんだいしんさいでんしょうばんししょうぶたかいがんぼうちようてい

3・11東日本大震災伝承板

「菖蒲田海岸防潮堤」

菖 蒲田浜地区は、昔ながらの風光明媚な場所です。国内で3番目に古い歴史をもつ菖蒲田海水浴場を有し、夏は多くの海水浴客で賑わっていました。しかし、津波により町面積の3割以上が浸水。同地区も甚大な被害を受けたのです。

そこで漁港や道路などの復旧と併せて菖蒲田海岸防潮堤を再整備。復旧した防潮堤は、数十年から百数十年に一度の割合で発生する津波に備えた堤防高とし、今後起こりうる津波や高潮から命や財産を守るため、新たな津波対策として高さT・P・(東京湾平均海面)+6.8mで設計されました。また津波が堤防を越えても破壊されにくい、コンクリートを覆いかぶせた粘り強い構造が特徴です。しかしすべての津波を防御することは難しく、巨大津波に対しては「逃げる」ことが命を守ることに「つながる」と伝える伝承板も設置しています。

そこで漁港や道路などの復旧と併せて菖蒲田海岸防潮堤を再整備。復旧した防潮堤は、数十年から百数十年に一度の割合で発生する津波に備えた堤防高とし、今後起こりうる津波や高潮から命や財産を守るため、新たな津波対策として高さT・P・(東京湾平均海面)+6.8mで設計されました。また津波が堤防を越えても破壊されにくい、コンクリートを覆いかぶせた粘り強い構造が特徴です。しかしすべての津波を防御することは難しく、巨大津波に対しては「逃げる」ことが命を守ることに「つながる」と伝える伝承板も設置しています。



防潮堤を整備した時期と同じ平成29年(2017)、菖蒲田浜復興道路を竣工。海岸沿いの県道塩釜七ヶ浜多賀城線の復興道路は、震災時の教訓を踏まえ、避難車両がスムーズに通行できる道幅を確保し整備された



「避難体制」「まちづくり」「防御施設」が三位一体となった、多重型津波防災対策を講じている七ヶ浜町。防潮堤の近くには菖蒲田浜海浜公園が造られ、ほかにも津波防災公園緑地や防災林が整備された



震災の経験を風化させることのないよう、後世に「ながく」伝承していくこと、また今後発生しうる災害などに対する、迅速な避難行動の啓発を目的として県内の各海岸に伝承板を設置している

その他

(防潮堤)

車椅子OK

※伝承板は段差なし

施設DATA

●さんてんいちひがしにほんだいしんさいでんしょうばんししょうぶたかいがんぼうちようてい

3.11東日本大震災伝承板 —菖蒲田海岸防潮堤—

📍なし MAP P115C3

- 📍七ヶ浜町菖蒲田浜地区
- 📍仙台東部道路仙台港北ICから車で20分
- 📍📺見学自由
- 📍Pあり(大型バス:あり) ※海水浴シーズンは有料

考えてみよう

Q1 L1津波という比較的発生頻度の高い津波は、新しい海岸防潮堤で防御できる想定ですが、L2津波という東日本大震災クラスの大きな津波では、完全に防御することができない想定のため、命を守るためには迅速な避難行動が不可欠です。そのため菖蒲田浜地区周辺には、海岸防潮堤の内側に防災林が整備されています。それはなぜでしょうか？

A1 津波の遡上を遅らせ、その間に少しでも海から離れた場所に逃げられるよう、避難時間を稼ぐ効果がある。

注① 出典：七ヶ浜町の復興概況、令和3年4月1日、七ヶ浜町



●たがじょうし
多賀城市津波波高標識

●たがじょうしなみはこうひょうしき

多 賀城高校の生徒が、津波被害を受けた地区を自分たちの足で歩いて波高を調査。震災時に地域をどのくらいの高さの津波が襲ったのか、その痕跡を計測し、住民の方たちから聞き取りを行い、平成25年(2013)8月から電柱などに津波波高標識の設置を始めました。現在までに150個の標識が設置されています。なかには平安時代前期の津波の言い伝えが残る、国指定名勝「名勝おくのほそ道の風景地」にも登録されている歴史遺産「末の松山」の前に設置された標識も。

例年1月に開催される「東日本大震災メモリアルday」では、来校者を対象に生徒が語り部となって津波伝承まち歩き活動を行っています。災害科学科で防災・減災・伝災を学ぶ生徒が、津波波高標識を回りながらJR多賀城駅前の多賀城市東日本大震災モノユメントまでを案内。彼らの言葉を通して震災を学ぶことができます。

津波伝承まち歩き活動では、商業施設の駐車場や歴史遺産「末の松山」にも立ち寄る。さまざまなスポットを巡りながら、高校生が自分の言葉で語る震災の教訓・地域の魅力に耳を傾けたい



津波の痕跡の高さを測量器で測定し、その数値のもと付近に立つ電柱にマーキングを実施。設置した津波波高標識のデザインは生徒が行った。津波の記録を残したいと被災地区の自治会長から要望を受けることも



イベント「東日本大震災メモリアルday」では、生徒が語り部となって来校者を案内(所要1時間30分、●無料※要予約)。設置した標識をたどり、最後は多賀城市 東日本大震災モノユメントへ

多賀城市

多賀城市津波波高標識

高校生が設置した津波到達地点を示す標識

多賀城市の被害状況

最大震度 5強

浸水面積 約6.6km²

最大浸水深 約4.6m

全壊 1,746棟

半壊 3,730棟

一部損壊 6,166棟

死者 219人

行方不明者

負傷者

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(波高標識)

語り部あり

※要予約

施設DATA

●たがじょうしつなみはこうひょうしき

多賀城市津波波高標識

☎ 022-366-1225(宮城県多賀城高等学校) MAP P115C3

📍多賀城市内

📍設置場所により異なる

🕒🕒🕒見学自由(東日本大震災メモリアルdayの語り部は無料※要予約)

📍設置場所により異なる

考えてみよう

Q1 震災翌年、市内の建物などに確認できる津波の痕跡は復興作業のなかでの洗浄や壁の塗り替え、自然の風雨などで、日に日に消失していました。しかしある思いをきっかけに生徒たちの調査が始まり、津波波高標識の設置へとつながります。それはどんな思いだったのでしょうか?

A1 津波の痕跡という「負の遺産」も、大切な教訓として記録し、後世に残そうという思い。

注①出典:多賀城市における東日本大震災の被害状況概要,平成30年8月1日,多賀城市

●せんだいし
仙台市

みやぎ生協
東日本大震災学習・資料室

●みやぎせいきょう ひがしにほんだいしんさいがくしゅう・しりょうしつ
人々の暮らしを支える組合の支援活動を追う

仙台市の被害状況

最大震度 6強

浸水面積 宮城野区20km²
若林区29km²
太白区3km²

最大浸水高 19.7m

全壊 30,034棟
半壊 109,609棟

一部損壊 116,046棟

死者 923人

行方不明者 27人

負傷者 2,277人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.111下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

み やぎ生協が開設し運営する約40坪の展示室。中央に設置された座席数20席の円形シアタールームでは、震災の混乱のなか、みやぎ生協が行った活動の記録を上映。シアタールームを囲むように延びる通路は展示エリアとなっており、「みやぎ生協の被災状況」「きずな（全国の生協からの支援）」「支え合う、明日に向かって」などテーマ別の展示を通して震災当時を知ることができます。入口にはみやぎ生協の震災後の取組みがダイジェストで見られるよう、デジタルサイネージを設置。展示に振られた番号順に巡ると時系列で追うことができます。音声ガイドを聞きながら見学することもできますが、生協スタッフが震災当時の様子を残した記録をもとに説明もしてください。ほかにも全国から届いた応援メッセージや色紙などの贈り物も公開しており、人々の優しさを感じられる空間となっています。



120インチのスクリーンで映像が視聴できる、20席の円形シアタールーム。活動記録以外にも、震災関連のDVDを所蔵している。全国各地から寄せられた、温かいメッセージにも目を通してみよう



震災後に取組んだことを後世に伝える責任があるとの考えから、みやぎ生協が設置した展示室。各地域にネットワークをもつみやぎ生協だからできた、人々の暮らしに寄り添う支援活動などを紹介している



みやぎ生協の取組みを、デジタルサイネージを使ってわかりやすく紹介。壁には震災当日の号外から、河北新報の新聞紙面を発行日順に展示している。すぐそばには音声ガイドも設置されているので活用したい

展示

交流拠点

施設ガイド

音声ガイド

車椅子OK

施設DATA

●みやぎせいきょう ひがしにほんだいしんさいがくしゅう・しりょうしつ

みやぎ生協
東日本大震災学習・資料室

☎ 022-374-8531 MAP P115C3

📍 仙台市泉区八乙女4-2-2
🚶 仙台市営地下鉄南北線八乙女駅から徒歩15分
🕒 10～17時

🌞 日曜、祝日

🆓 無料

📄 あり(大型バス:要問合せ)
https://www.miyagi.coop/outline/shien/study_data



？ ？ 考えてみよう

Q1 「私たちにもできることはある」という思いから県内4カ所にボランティアセンターを立ち上げたみやぎ生協。総活動回数4311回、参加者のべ人数13万7330人、ボランティアのべ人数3万1066人にまで広がった支援活動は、具体的にどんなことが行われたのでしょうか？

A1 お茶を飲みながらお話を楽しむ「ふれあい喫茶」やさまざまな生活用品を集めた「おゆずり会」、遊び場が減った子どもたちのための「ミニミニ運動会」など、各地にネットワークをもつ生協の強みを生かして展開された。



放送局2階に設けられた展示施設。地震発生から72時間の総合テレビのニュース映像や、復興の過程を長期的に記録した定点映像を視聴できるコーナー、その場にいるかのように被災地の状況を知ることができる映像体験コーナーなどがあり、多岐にわたる情報を学ぶことができます。

VR映像の体験1回5名まで、13歳未満はタブレットやモニターでの視聴では、岩手・宮城・福島の震災遺構や被災地のいまについて、語り部の話とともに、「体感」できる映像のほか、4KのVRを用いた津波被害シミュレーションなど、防災意識を高めるコンテンツを提供しています。3.11シアターではクイズ形式の映像で、防災について楽しみながら学べます。開館日の平日には、施設内をスタッフが案内する、一般向けの震災伝承ツアー(無料、要予約※1日3回、1グループ20人まで)も行っていきます。

「東日本大震災の事実や記憶、経験や教訓を伝えること」がコンセプト。開館日の平日には小・中学校の見学も受付けており、10時～11時10分と13時30分～14時40分に実施している(無料、人数制限あり)



3.11シアターでは、「あの日」から学ぶ「地震だ! みんなはどうする」など映像コンテンツを上映。子どもから大人まで、地震や津波が起きた時の避難の仕方をクイズ形式で学べる



地震発生から72時間、「あの日」を伝える放送資料を公開。また、復興への道のりをまとめた年表や、各県の震災伝承施設を記したマップを展示し、基本情報とともに紹介している

考えてみよう

Q1 映像体験コーナーには、「津波のときはてんでんこ」という、岩手県三陸沿岸地域に伝わる方言を含んだ教えを説明したパネルが展示されています。この教えは津波で多くの人々が犠牲になる悲劇が繰り返される中から生まれ、子や孫へと引き継がれてきました。どういった意味が込められているのでしょうか?

A1 「てんでんこ」とは、「それぞれに」という意味。「津波が来たら、それぞれで逃げる。自分の命は自分で守りなさい」という教え。

仙台市

NHK仙台放送局 定禅寺メディアステーション

VR映像で被災地のいまを“体感”

●せんだいし

●えぬえいちけいせんだいほうそうきょくじょうぜんじめでいあすてーしょん

仙台市の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	宮城野区20km ² 若林区29km ² 太白区3km ²
最大浸水深	19.7m
全壊	30,034棟
半壊	109,609棟
一部損壊	116,046棟
死者	923人
行方不明者	27人
負傷者	2,277人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示 交流拠点

施設ガイド
※要予約

施設DATA

●えぬえいちけいせんだいほうそうきょくじょうぜんじめでいあすてーしょん

NHK仙台放送局 定禅寺メディアステーション

☎ 022-211-1001(代表) MAP P115C3

- 📍 仙台市青葉区本町2-20-1
- 🚶 JR仙台駅から徒歩15分
- 🕒 10～17時(土曜は13時～の場合あり)
- 🌞 休月曜(祝日の場合は翌日)
- 🆓 無料
- 📵 なし

https://www.nhk.or.jp/sendai/station_info/guide.html



津 波の甚大な被害を受けた仙台市東部沿岸地域への玄関口でもあるこの施設は、震災の記録を一方から伝えるだけではなく、来館者に記憶や思い出を残してもらおうなど、交流できる空間として開館しました。1階の交流スペースでは、津波浸水区域を表す立体地図や図書コーナーなど、仙台市東部沿岸地域の情報を発信しています。2階の展示室では、震災被害や復旧・復興の状況を伝える常設展のほか、多様な切り口で震災を伝える企画展も開催。震災のことを語り合うワークショップや、周辺スポットを巡るフィールドツアーなども不定期で行っています。2階の廊下には、仙台市在住のイラストレーター・佐藤ジュンコ氏が手がけたイラストマップを展示。マップに示された地域の思い出などをふせんに書き込み、来館者なら誰でもマップに追加することができますので、ぜひ参加してみましょ。



仙台在住のイラストレーター・佐藤ジュンコ氏によるイラストマップの展示。北は仙台港、南は名取市関上まで、仙台市沿岸部を中心に、地域の魅力や震災前から現在までの思い出が描かれている



体験型展示「わたしたちの3.11」。短冊に2011年3月11日の出来事を書き、裏面に未来の願い事を書いたら、好きな場所に設置。後日、仙台七夕まつり開催期間に合わせ、館内の七夕飾りとして活用する



駅直結で、いつでも立ち寄れる1階の交流スペース。立体地図や関連図書などを通じて、仙台市東部沿岸地域の情報を発信。自由に持ち帰れるリーフレットなどを、常時豊富に取り揃えている

考えてみよう

Q1 2階展示室の床、テーブルや長椅子には、ある物が再利用されています。一体何が使われているのでしょうか？

Q2 体験型展示「わたしたちの3.11」では壁にたくさんの短冊が貼られています。この展示にはどんな思いが込められているのでしょうか？

A1 津波被害で閉校となった、東六郷小学校の体育館のステージの部材などが使われている。

A2 過去・現在・未来の時間軸に沿って記憶や思い出を残し、共有しようという思い。ともに考え対話することの大切さを教えてくれる。

●せんだいし
仙台市

●せんだいさんてんいちいちめもりあるこうりゅうかん
せんだい3.11メモリアル交流館

それぞれの記憶と思い出を共有できる場所

仙台市の被害状況

最大震度 6強

浸水面積
宮城野区20km²
若林区29km²
太白区3km²

最大浸水高 19.7m

全壊 30,034棟
半壊 109,609棟
一部損壊 116,046棟

死者 923人
行方不明者 27人
負傷者 2,277人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド **車椅子OK**
※要予約

施設DATA

●せんだいさんてんいちいちめもりあるこうりゅうかん
せんだい3.11メモリアル交流館

☎ 022-390-9022 **MAP** P115C4

① 仙台市若林区荒井字沓形85-4
地下鉄東西線荒井駅内

② 仙台市営地下鉄東西線荒井駅直結

🕒 10～17時

🗓 月曜（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜、祝日を除く）、ほか臨時休館あり

🆓 無料

🅇 なし（近隣に有料駐車場あり）

<https://sendai311-memorial.jp>





被災した校舎をありのままに保存
 ●こういらいふ せんだいしりつあらはましようがっこう

発 災当時、地域の指定避難所だった小学校。海岸から700m離れた同校には、2階まで津波が押し寄せましたが、避難した児童や教職員、地域住民など320人全員が助かりました。震災後に耐震改修工事を施し、校舎をそのまま遺構として保存・公開。津波による犠牲を再び出さないよう、津波の脅威や教訓を後世に伝えていきます。

1〜2階では損傷した姿を展示。4階展示室では、地震発生から避難、津波の襲来、そして救助されるまでの経過を写真と映像で振り返りながら、災害の備えについて学ぶことができます。また、荒浜地区の歴史や文化、同校の思い出なども紹介。2026年1月には防災教育コーナーも新設されました。徒歩7分の所には震災遺構仙台市荒浜地区住宅基礎もあり、津波により被災し、残った住宅基礎や建物の一部を見ることが出来ます。

4階にある「在りし日の荒浜」。荒浜地区の成り立ちや荒浜小学校の思い出などにふれている。元住民の協力のもと制作したジオラマ模型からは震災以前の町並みを想像できる



保健室や1年生、2年生の教室があった校舎1階では、廊下から中の様子を見学できる。展示されている写真は、最後まで学校に残った震災当時の校長先生が学校を出る前に撮影したもので



4階の展示室「3.11荒浜の記憶」。地震発生から27時間後の避難者全員の救出までを震災当時の校長や町内会長へのインタビュー、消防ヘリの映像などを織り交ぜ、約17分の映像で上映している

●せんだいし
仙台市

震災遺構 仙台市立荒浜小学校

被災した校舎をありのままに保存



最大震度 **6強**

浸水面積
 宮城野区20km²
 若林区29km²
 太白区3km²

最大浸水高 **19.7m**



全壊 **30,034棟**

半壊 **109,609棟**

一部損壊 **116,046棟**



死者 **923人**

行方不明者 **27人**

負傷者 **2,277人**

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

施設ガイド

車椅子OK

※要予約

施設DATA

しんざいいこう せんだいしりつあらはましようがっこう

震災遺構 仙台市立荒浜小学校

☎ 022-355-8517 MAP P115C4

- ① 仙台市若林区荒浜字新堀端32-1
- ② 仙台東部道路仙台東ICから車で10分
- ③ 9時30分～16時(7～8月は～17時)
- ④ 月曜、第4木曜(祝日の場合は開館)
- ⑤ 無料
- ⑥ あり(大型バス:あり)

<https://arahama.sendai311-memorial.jp>



考えてみよう

Q1 校舎1階で見られる、弓なりに曲がった壁や黒板、破損した天井などは、どうしてこのような姿になったのでしょうか？ また、2階の廊下などで見られる、床上40cmに残る跡は、何の跡でしょうか？



A1 津波が押し寄せた時の水の重さ、津波で流されてきた木材やがれきなどによってゆがみや破損が生じた。2階の床上の跡は浸水した跡。

名 取川の河口付近に位置する閉上地区に2020年に開館した伝承施設。来館者と地元民が、震災や防災を通して交流・連携する場を目指しています。建物からは名取川、貞山運河、河口の海を眺められ、普段の美しさからは考えられないほど牙をむいた震災当時の姿を想像してみてください。

館内では町を襲った津波の様子や海上で津波を乗り越える巡視船から撮影された映像、「津波の真実」と題した住民の証言を集めたパネルを展示。震災以前の閉上の町並みを再現したジオラマ模型や復興のあゆみも詳細な資料で語られます。また過去多くの自然災害に見舞われた経験を生かし、天災の被害を最小限に抑える助となるよう、防災の知識も発信。防災教育の展示ではハンズオン体験として「水圧体感ドア」や「水圧を感じるゲタ」を設置。身をもって体験しながら防災を学べる貴重な機会が提供されています。



復興へのあゆみを記録したパネル展示。また閉上に訪れたら併せて地域を巡ってほしいとの思いから、名取市の魅力を詰め込んだ散策マップも紹介。昔と今の地域情報を知ることができる場所となっている



コミュニティスペースでは、平成26年(2014)に神戸大などが住民らと協力して制作したジオラマ模型を展示している。津波に見舞われる前の閉上の町を再現。住宅や店に思い出を記したプレートが立てられている



水深30cmの場合にどれくらいドアが重くなるのか体験できる「水圧体感ドア」。ひざ下の水深なのに、かかる水圧はおよそ36kg。大人の手でも数10cmしか開くことができず、いかに避難が困難かを示してくれる

●なとりし
名取市

●なとりしんざいふつこうでんしょうかん
名取市震災復興伝承館

地域の体験を知り、防災教育へとつなげる

名取市の被害状況

- 最大震度 6強
- 浸水面積 27km²
- 最大浸水深 8.5m
- 全壊 2,801棟
- 半壊 1,129棟
- 一部損壊 10,061棟
- 死者 965人
- 行方不明者
- 負傷者 208人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●なとりしんざいふつこうでんしょうかん
名取市震災復興伝承館
☎022-393-6520 MAP P115C4
①名取市閉上東1-1-1
②仙台東部道路名取ICから車で5分
🕒9時30分～16時30分(12～3月は10～16時)
🔥火曜(祝日の場合は翌日)
🆓無料
🅐あり(大型バス:あり)
<https://www.natori-denshoukan.jp>



考えてみよう

Q1 仙台市の南東に位置し、太平洋に面した名取市。なかでも、海沿いに広がる閉上地区は、昔から住民たちの間である話が信じられていました。それが避難の遅れにつながったのではないかとわれ、教訓として引き継がれています。その話とはどんなことでしょうか？

A1 「遠浅の閉上地区には津波が来ない」と信じられていた。震災後はハザードマップの作成などに、教訓として生かされている。

注①出典:東日本大震災名取市の記録,平成26年10月,名取市 注②出典:記録で知る被災,2020年5月30日,名取市震災復興伝承館



園内は5つのゾーンに分かれており、亡くなられた方たちを思い、祈りを捧げる「祈りのゾーン」、暮らしのなかの憩い・コミュニケーションの場となる「憩いのゾーン」、海沿いの堤防を越えて広浦湾を眺められる「海を望むゾーン」、これからの震災復興の象徴を担う「日和山ゾーン」、震災の教訓を未来へと伝承する「遺構と伝承ゾーン」で構成されています。

祈りのゾーンに建立された慰霊碑の高さは、この地に押し寄せた津波の高さと同じです。芳名板には、名取市民の犠牲者と市内で亡くなった方の芳名が刻まれています。

古くから地域のランドマークである日和山からは、閑上地区一帯を一望。巨大津波で流失した閑上湊神社と富主姫神社を祭っています。近隣には名取市震災復興伝承館（P79）と津波復興祈念資料館 閑上の記憶（P81）もあるので、併せて訪れてみてください。

日和山の頂上に祭られていた神社は津波により流失。クラウドファンディングにより平成25年（2013）に新たな社殿が建立された。かつてこの日和山一帯は、地域の祭りが開かれ、地域住民が集まる場所だった



平板ブロックで震災前の閑上の地形、幹線道路などを表現した「遺構の広場」。閑上小学校前歩道橋の一部が遺構として公開されている。発災時この歩道橋に人々が避難し、たくさんの命が救われた



犠牲者を追悼する鎮魂の場として、また震災の記憶を語り継ぎ、人々が集い憩うための空間として整備。津波と同じ高さで建てられた慰霊碑のそばには、天皇陛下が皇太子時代に慰問され、詠まれた歌碑もある

●なとりし
名取市

●なとりしんさいめもりあるこうえん
名取市震災メモリアル公園

慰霊を目的に整備された都市公園

名取市の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	27km ²
最大浸水深	13.1m
全壊	2,801棟
半壊	1,129棟
一部損壊	10,061棟
死者	954人
行方不明者	38人
負傷者	208人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

慰霊碑
公園

車椅子OK

施設DATA

●なとりしんさいめもりあるこうえん

名取市震災メモリアル公園

☎022-384-2111（名取市建設部都市計画課）MAP P115C4

📍名取市閑上東3地内

🚗仙台東部道路名取ICから車で5分

👁️見学自由

🚗あり（大型バス：あり）

？ ？ 考えてみよう

Q1 広い園内で、遠くからでも目に飛び込んでくる慰霊碑。大空へと高く伸びるデザインは、どんなイメージで制作されたのでしょうか？

Q2 遺構の広場は震災前の閑上地区を思い描けるように工夫されています。使用されている平板ブロックは、ある物を使って製作されました。それは何でしょうか？

A1 震災により犠牲になられた方たちが天に昇っていくイメージを表すとともに、復興に向けた決意を表している。

A2 閑上地区から出た震災がれきで、平板ブロックを製作した。

「開上案内ガイド」など、目的や時間に応じて参加が可能です。

また、語り部プログラムが充実していることも特徴。開上に住んでいた人、縁のある人などが語り部となり、震災当日、震災後の実体験をベースにあの日の出来事を話してくださいませ。不定期で日曜に開催している無料語り部(所要30分、予約不要)のほか、館内で震災のことを学べる「語り部講話」や、案内人と一緒に開上をめぐる、開上における震災を深く知れる「開上案内ガイド」など、目的や時間に応じて参加が可能です。



語り部のメンバーは開上中学校遺族会、開上町内会役員、まちづくり協議会、開上の記憶の館長などで構成。来館者の知りたい、学びたい内容に応じて、語り部をマッチングしてくれる



か 2015年5月11日、開上地区は、津波で壊滅的被害を受け更地に。開上中学校でも、14人の生徒が津波の犠牲となりました。館内では、旧開上中学校で実際に生徒たちが使っていたロッカーや、亡き生徒の遺品、痕跡から津波の高さが確認できるドアなど、震災の記憶をたどる展示物や映像資料を、館内常駐スタッフの案内で見ることができます。



「語り部講話」(所要:40~60分、①1グループ5000円 ※20日前までに要予約)は、館内で震災のこと、命の大切さを学べるプログラム。短い時間でもしっかり震災について知りたいという人にオススメ



案内人と町を歩き、じっくりと震災を学べる「開上案内ガイド」(所要:1時間30分、②5000円 ※20日前までに要予約)。震災前や直後の状況、復興のあゆみなど、案内人の被災体験を踏まえた話を聞ける

●なとりし
名取市

津波復興祈念資料館 開上の記憶

●つなみふっこうきねんしりょうかん ゆりあげのきおく
開上にはゆかりのある語り部があの日を伝える

名取市の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	27km ²
最大浸水高	13.1m
全壊	2,801棟
半壊	1,129棟
一部損壊	10,061棟
死者	954人
行方不明者	38人
負傷者	208人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド 語り部あり

車椅子OK

※入口に2段の階段あり。スタッフがサポート

施設DATA

- つなみふっこうきねんしりょうかん ゆりあげのきおく
津波復興祈念資料館 開上の記憶
- ☎022-738-9221(平日10~15時) MAP P115C4
- ③名取市開上東3-5-1
- ④仙台台東部道路名取ICから車で3分
- ⑤10~15時(日曜、祝日は9時~)
- ⑥木曜(祝日・11日の場合は開館)
- ⑦無料
- ⑧あり(大型バス:あり)
- https://tsunami-memorial.org



考えてみよう

Q1 この施設が強い使命感をもって、来館者に何よりも伝えたいと思っていることは何でしょうか？

Q2 地元開上の人たちを中心にこの施設は発展してきました。「震災を伝える場所」以外にも大きな役割があります。それは何だと思いませんか？



岩沼市の沿岸部には6つの地区がありました。津波の被害を受け、住民は沿岸から約3km離れた場所に防災集団移転しました。千年希望の丘は、人が住めなくなった土地を活用したメモリアル公園で、沿岸部約10kmにわたり6つの公園と14基の避難丘(うち2基は既存丘)が整備されています。丘と丘を園路(緑の堤防)でつなぐことで津波の威力を弱くさせ、万が一の時の避難場所としての役割を担っています。

交流センターでは、被害や復興状況の写真、パネル80点を展示するほか、外国人にも学んでほしいと、多言語の防災学習用動画を上映。震災語り部ガイド(有料、要予約)と巡る見学では、メモリアル公園内の慰霊碑、避難丘、震災遺構などを見ながら、震災当時の様子や復興への取り組みなどを聞き、震災の記憶や教訓を学べます。4〜6月には、植樹体験(有料、要予約)も実施しています。

震災と復興の状況を記録した写真やパネルを常時展示している。千年希望の丘事業構想や丘の機能なども、わかりやすく解説。各種パンフレットなどの提供や、希望の丘グッズの販売もあり



震災語り部ガイドによる現地見学を実施(ガイド1人3000円、ガイド1人につき5〜20人まで対応可。滞在時間に合わせて案内※要予約)。交流センターなどがある相野釜(あいのかま)公園内を案内してくれる



震災の記録・記憶の伝承と防災教育、植樹・育樹などの環境保全活動の拠点となる交流センター。ウォークスルービデオでは震災前の集落の移動を仮想体験でき、津波で失われた景観を感じることができる

考えてみよう

Q1 園内の丘は、何を土台に造られているでしょうか？ 人々が暮らしてきた証であり、津波の痕跡や被災者の想いを後世に伝える物を使っています。

Q2 相野釜公園に建てられたモニュメント(慰霊碑)の形や高さには、どんな意味が込められているのでしょうか？

A1 震災がれき。岩沼全体の約90%にあたる震災がれきが使われた。

A2 人と人が支え合う形を表している。またモニュメントの高さは8m。同地区に押し寄せた津波高を示している。

岩沼市

●いわぬましせんねんきぼうのおかこうりゅうせんとー

教訓を生かして造った14基の人工丘

岩沼市の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	29km ²
最大浸水深	10.5m
全壊	736棟
半壊	1,606棟
一部損壊	3,086棟
死者	186人
行方不明者	1人
負傷者	293人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

岩沼市千年希望の丘交流センター

展示
交流拠点

施設ガイド 語り部あり
※要予約
車椅子OK

施設DATA

●いわぬましせんねんきぼうのおかこうりゅうせんとー
岩沼市千年希望の丘交流センター

☎ 0223-23-8577 MAP P115C4

④ 岩沼市下野郷字浜177
⑤ 仙台台東道路仙台空港ICから車で7分
⑥ 9〜17時
⑦ 火曜(祝日の場合は翌日)
⑧ 無料
⑨ あり(大型バス:あり)
<https://sennen-kibouno-oka.com>



平 成6年(1994)に開館した悠里館の1階に入る郷土資料館。震災後は「東日本大震災特集コーナー」を新設し、25枚の写真パネルを使って、発災から復興へと進む様子を解説しています。毎月11日には、震災直後から10年間の町の歩みをまとめた映像の上映会を実施(上映時間約15分)。また、震災で失われてしまった景観や文化を後世へ伝え続けようと、かるたを製作し、館内で販売。読み札は町内の小・中学生からの応募により、取り札の絵は町内の中学校の美術部員、絵画製作の団体や個人の方々により描かれました。



鳥の海公園にある「鎮魂の碑」は、築港住宅跡に建てられた。花壇がある一面は三角形になっており、かつてこの地にあった「三角公園」を偲んで設計。花壇の手入れは、地元住民が行っている



阿武隈川の流れをイメージした常設展示室の入口では大型画面による映像プログラム「わたしたちのまち・巨理」を上映。ほかシアターコーナーや巨理伊達家を掘り下げたコーナーなど、郷土史にまつわる展示も充実



1階では毎月11日に、震災後から10年の歩みをまとめた約15分の映像「わたり復興のあゆみ」を上映している(休館日を除く)。5階展望ホールからは町を一望できるので、海までの町の景色を眺めてみよう

●わたりちょう
巨理町

●わたりちょうりつきょうどしりょうかん
巨理町立郷土資料館

震災後に新設した展示コーナーで震災を解説

巨理町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	35km ²
最大浸水深	10.73m
全壊	2,389棟
半壊	1,150棟
一部損壊	2,048棟
死者	283人
行方不明者	4人
負傷者	45人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド
※要予約

車椅子OK

施設DATA

●わたりちょうりつきょうどしりょうかん

巨理町立郷土資料館

☎ 0223-34-8701 MAP P115C4

📍 巨理町字西郷140

🚶 JR巨理駅から徒歩3分

🕒 9時～16時30分(最終入館は16時)

📅 月曜、祝日(特別開館日を除く)、資料整理日(毎月最終金曜)、特別整理期間(2月中)

🆓 無料

🅐 あり(大型バス:あり)

<https://www.town.watari.miyagi.jp/museum>



考えてみよう

Q1 鳥の海公園にある石碑に刻まれた碑文は、実際に被災した方たちから募集し、後世に伝えたい5訓を選び、記しています。そのなかの1つに、荒浜地区で信じられていた津波に関する言い伝えを、強く否定している教訓があります。それは、何でしょうか?

A1 「荒浜に津波は来ない」は幻想なり。ほかにも「油断して 途中で戻れば 命取り」など、具体的な教訓が並ぶ。

●やまもとちよう

山元町

山元町の被害状況

最大震度 6強
浸水面積 24km²
最大浸水深 13.52m

全壊 2,217棟
半壊 1,085棟
一部損壊 1,138棟

死者 701人
行方不明者 17人
負傷者 90人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

防災を学び、防災を実践する拠点

山元町防災拠点・山下地域交流センター (1階防災情報コーナー)

●やまもとちようぼうさいいきよてん・やましたちいきこうりゅうせんたー(いつぱいぼうさいじょうほうこうなー)

災害時には「町民の安全・安心を守る防災拠点」

平時時には「地域の交流・活力を創造するための交流拠点」として、震災後に建設されました。1階防災情報コーナーではさまざまな媒体を通し、津波災害の伝承や防災教育への活用、防災意識を高めることを目指しています。4カ所のモニターで震災にまつわる映像を常時上映しているほか、プロジェクトショールームによる津波の浸水域・津波到達のシミュレーション、新市街地完成までの様子を説明する模型などを展示。パネルでも被害状況や復旧・復興の歩みにふれられており、テーマごとに展示や紹介を変えながら、興味を持続させる工夫をしています。施設は「津波防災まちづくり拠点」という側面もあり、自家発電設備や耐震性貯水槽、マンホールトイレ、非常用品備蓄庫を設置。教訓を生かした防災機能には、備えのヒントが詰まっています。

防災情報コーナーには、震災関連書籍を多数所蔵。震災10日後の3月21日に開局し、平成29年(2017)3月まで放送を続けた山元町臨時災害FM放送局「りんごラジオ」の放送の一部を、手回しラジオで聞ける



1階には、72m²の広々とした屋内イベントホールも。日当たりのいいオープンな空間の2階図書コーナーや、山下駅の常磐線ホームが一望できる3階屋外テラスなどのスペースも利用できる



被災状況だけでなく、震災後にできた施設などもパネルで紹介。広域にわたる市街地の移転、常磐線の移設、土砂災害計画区域の展示には、模型を用いているので、広い視野で捉えられてわかりやすい

展示 交流拠点

施設ガイド 車椅子OK

※平日9~17時、要予約

施設DATA

●やまもとちようぼうさいいきよてん・やましたちいきこうりゅうせんたー(いつぱいぼうさいじょうほうこうなー)

山元町防災拠点・山下地域交流センター(1階防災情報コーナー)

☎ 0223-37-5592 MAP P115C4

📍山元町つばめの杜1-8

🚶 JR山下駅から徒歩すぐ

🕒 9時~21時30分

🆓 無料(臨時休館あり)

🆓 無料

🚗 あり(大型バス:あり)

考えてみよう

Q1 「津波防災まちづくり拠点」としての役割を果たすため、非常用品備蓄庫には毛布のほか、非常食をローリングストックし、緊急時にはここから非常用品を持ち出し、町民に配布するといいます。「ローリングストック」とは、具体的にどのような備蓄方法でしょうか?

A1 普段から使っている物、食べている物を少し多めに買って置き、使った分、食べた分だけ新しく買い足していく方法。

巨 大津波から児童や教職
員ら90人の命を守り抜いた
小学校を、可能な限り被災当
時のまま保存・整備し、防災教
育・震災伝承の場として一般公開
しています。1階では津波が通
り抜けた痕跡や壊れた備品、流
れ込んだ流木などの状況から
津波被害の甚大さを知ること
ができ、2階では震災前の町並
みを再現したジオラマ模型や震
災時の証言映像などの展示物
から防災対策や避難行動を考
えることができます。屋上から
避難した人たちが一晩過ごした
倉庫に実際に入ることができ、
震災当日の出来事を肌で感じ、
自分ごととして捉えられます。
館内には町職員が常駐して
おり、2階や屋上では説明を受
けながら回れるほか、語り部ガ
イドの解説のもと見学も可能
(有料、要予約)。『考えるワーク
ブック』(1冊1000円)は、見学
の前後に活用できるよう編集さ
れています。見学後の防災学習
にも役立てましょう。



児童や教職員、地域住民が、頻発する余震と厳しい寒さに耐えながら一夜を過ごした屋根裏倉庫。奇跡的に流されなかった毛布で寒さをしのぎ、余震のたびに「大丈夫」とお互いに声をかけ、励まし合った



1階にある多目的ホール。やまもと語りべの会による語り部ガイド(所要45分～、語り部1人5000円※要予約、語り部1人につき20人まで対応可)が語る震災当時の状況などから、災害への備えと教訓を学べる



2階の展示室では、思い出とともに住民によって制作された、震災前の中浜小学校周辺地区のジオラマ模型を見ることができる。施設の敷地全体の模型もあり、中浜小に施されたさまざまな津波対策を学べる

考えてみよう

Q1 津波などの有事に備え、中浜小学校の校舎外壁には、外階段がついています。なぜ校舎の外に階段があるのでしょうか？

Q2 扉や枠が幸いにも流れず、残っている職員玄関。本来、扉は外開きののですが、現在は内側に開いています。どうしてでしょうか？

A1 夜間や休日など、時間外に起きた災害でも地域住民が2階まで避難できるように設置された。
A2 津波の通り道となり、引き波の影響から内側に開いてしまった。押し波だけではなく、引き波の威力を感じとれる。

●やまもとちょう
山元町

●やまもとちょうしんさいぎょう なかはましようがっこう
山元町震災遺構 中浜小学校

あの日の状況に実際に立って考えてみよう

山元町の被害状況

最大震度	6強
浸水面積	24km ²
最大浸水深	13.52m
全壊	2,217棟
半壊	1,085棟
一部損壊	1,138棟
死者	637人
行方不明者	
負傷者	90人

注①

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

施設ガイド 語り部あり
※要予約

施設DATA

●やまもとちょうしんさいぎょう なかはましようがっこう
山元町震災遺構 中浜小学校

☎ 0223-23-1171 MAP P116E1

①山元町坂元字久根22-2
②常磐自動車道山元南スマートICから車で10分
③9時30分～16時30分(最終入館は16時)
④月曜(祝日の場合は翌日)
⑤400円、高校生300円、小・中学生200円 ※特別開館日(3/11山元町鎮魂の日、9/1防災の日、11/5世界津波の日)は入場無料
⑥あり(大型バス:あり)

注①出典:東日本大震災および津波の被害状況、2019年10月25日、山元町ホームページ(<https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/fukkou/324.html>)



このモニュメントがある山元町震災遺構 中浜小学校(P85)は校舎をできるかぎり被災時のまま保存・整備しており、展示スペースはあの日何が起こっていたのかを強く語りかけてきます。2020年には、遺構保存の手法や見学体験の工夫などが高く評価され、「グッドデザイン賞」に選出されました。

文字盤の真ん中に方位盤を配置し、国内外を問わず過去に起きた大規模地震の方角や距離などを表示。東日本大震災だけでなく、震災を地球規模の広い視点で捉える工夫をしている



津波の威力や状況を伝える場所。やまもと語りへの会による語り部ガイドと一緒に見学すると、震災に対する考えがより深まる(所要45分～、^①語り部1人5000円※要予約、語り部1人につき20人まで対応可)



日時計は、3月11日に時刻補正值がゼロになるように(日時計の影が実際の時刻を指すように)作られている。よく見ると目盛が対称でないのは、水を流すために盤面を傾けてあることが主な理由

●やまもとちよ

山元町

「3月11日の日時計」 中浜小学校震災モニュメント

●なかはましようがっこうしんさいもにゆめんと「さんがつじゅういちにちのひどけい」

国外にも目を向け災害を考えるきっかけに



最大震度 6強

浸水面積 24km²

最大浸水高 13.52m



全壊 2,217棟

半壊 1,085棟

一部損壊 1,138棟



注① 死者 637人

行方不明者

負傷者 90人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(モニュメント)

語り部あり

※要予約

施設DATA

●なかはましようがっこうしんさいもにゆめんと「さんがつじゅういちにちのひどけい」

中浜小学校震災モニュメント 「3月11日の日時計」

☎ 0223-23-1171 MAP P116E1

①山元町坂元久根22-2

②常磐自動車道山元南スマートICから車で10分

③9時30分～16時30分

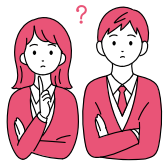
④休曜(祝日の場合は翌日)

⑤無料

⑥あり(大型バスあり)

考えてみよう

Q1 「3月11日の日時計」の方位盤には、ほかにも中浜小学校へ避難した人たちに「明けない夜はない」と希望を与えたものの方角を示しています。それは、一体何でしょうか?



A1 東日本大震災発生の翌日、3月12日に朝日が昇った方角を示している。希望となって人々を勇気づけた。

注① 出典: 東日本大震災および津波の被害状況, 2019年10月25日, 山元町ホームページ (https://www.town.yamamoto.miyagi.jp/site/fukkou/324.html)